

学校だより

令和2年度（2020年度） 9月28日

松任小学校 №.5



松任小学校 教育目標

進んで考え、みんなと一緒に
つくりあげる子の育成

「工夫」の運動会へのご協力、ありがとうございました。

日中は太陽の日差しが強い日もありますが、朝晩の涼しさと虫の鳴き声に、秋が深まりつつあるのを感じる今日この頃です。保護者の皆様におかれましても、寒暖の差も大きくなることから、引き続き新型コロナウィルス感染症予防を含め、健康管理に十分気をつけて頂きたいと思います。

さて、24日の本校第109回運動会に際しては、白山市教育委員会の方針のもと、新型コロナウィルス感染症予防のため、今後も教育活動が安全にできるよう、ご来賓の皆様、保護者の皆様、地域の皆様にご参観を控えて頂くようお願いし、皆様にご協力を頂き、誠に有り難うございました。運動会当日まで、各ご家庭で、お子様を励ましご協力頂いたお陰で、子どもたちは

限られた条件の中で工夫して準備や練習、運動会当日の演技や応援を行い、自分たちで互いに声援や拍手を送り、持てる力や練習してきた成果を十分発揮することができました。

6年生を中心に、赤・白・青組の応援、競技や各係活動を「全力 笑顔で 最後まで」の運動会スローガンのとおり、準備や運営・競技で、下級生や仲間である友達への声掛け等働きかけをしっかりと行い、話し合い、工夫して「児童みんながつくりあげる」素晴らしい運動会を実施してくれました。低・中・高学年の各団演でも、心を一つに、声や動きをそろえ、素敵な素晴らしい演技を披露してくれました。特に、5、6年生の「情熱～燃えろ高学年～」スタンツでは、一人ひとりが全員自信をもって技をきめ、良い表情で瞳を輝かせて、個々の動きがそろった集団演技の美しさを魅せてくれました。

また、運動会は、二学期開始から運動会当日のこの間、保護者の皆様にはお子様の健康面などいろいろとご準備、ご対応いただき、ご理解とご協力を頂きました。お陰様で、24日は、予定した運動会のすべての種目を児童が実施することができ、心に残る素晴らしい運動会をやり終えることができました。皆様から頂きましたご協力に心から感謝申し上げます。

さて、運動会を終えて、これから子どもたちは、更に本格的に二学期の学習に力を入れていく時期を迎えます。運動会を通して、子どもたちは、「全力で目前のこと取り組むこと」「最後まであきらめず、やりきること」「協力して友達と行事を創りあげること」等を経験することができました。運動会での頑張りや良さ、ここで学び経験した学年や学級集団としての高まりや個々に実感できた自信をこれから学校生活に更に生かしていってほしいと願っています。そして、一人ひとりの子どもたちにとっても、学級や学年、更に学校全体にとってもより一層実りの多い二学期にしていきたいと思います。今後とも引き続きのご理解ご協力の程何卒よろしくお願ひいたします。

「勝ち負けよりも大切なこと」

スポーツや大会は、優勝や勝利を目指して、競い合います。勝つことの価値が低いという意味でなく、運動会や大会等の本番までに、「どのように準備や練習に取り組んだか、真剣に練習できたか、取組方法を工夫したり、より良い方向へ改善しようと現状から分析し、次の手立てを考え実行したか」等準備や練習の段階の過程、プロセスが極めて重要です。競い合った相手チームや個人が勝負や試合の後、互いを称え合い、敵味方関係なく相手に拍手を送ることは、勝ち負けを越えた「自分や自分たちにできることをやりきったこと」「自分と同じようにやりきった相手の思いやプレーにも大きな価値を見出し、その思いを称え合うこと」です。運動会当日、児童は、自分の団や仲間を応援する拍手を送り、勝者にも敗者にも、勝ち負けに關係なく拍手を送り、素敵な演技にお互いに心からの拍手を送っていました。



運動会：5、6年スタンツ「情熱～燃えろ高学年～」